

## 令和3年度成果報告 産業観光課総括

### 1. 商工観光関係

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた町内事業所に対して、事業継続のための融資事業の他、感染拡大防止のための消毒機器や簡易検査キットの配布、売り上げが減少した事業者に対する事業継続支援金等の事業を行った。
- かつての尾張藩をエリアとする地域が連携し、名古屋市が中心となって欧米豪からの集客を目的とした、観光プロモーション事業を展開した。
- コロナ禍で様々な行事・イベントが2年連続して中止になる中で、アフターコロナを見据えて、ホームページの英語版作成、体験型モニターツアーの実施、案内人のスキルアップセミナー開催、デジタルコンテンツ環境整備等を行った。

### 2. 農政・農村整備・林務関係

- 中山間地域等直接支払制度の第5期（令和2年度～6年度）と多面的機能支払交付金事業の第2期（令和元年度～5年度）による各協定での取り組みが進められ、農道・水路の維持管理が行われた。
- 畜産振興については、素牛導入事業等により肉用牛飼育頭数は増加しているが、1軒だけ続けていた乳牛農家は廃業となった。肉用牛の家畜市場の子牛の平均価格は横ばいで推移している。
- 細の洞地区における小水力発電事業は、発電所施設が令和2年度に完成し、令和3年1月から発電及び売電を開始した。令和3年度は約780万円の売電収入を得て、維持管理や基金、学校施設の電気代等他事業への充当を行った。
- 災害復旧事業は、5月と8月の豪雨により計57箇所の農地及び施設が被災し、国庫及び町単による復旧工事を実施した。6か所は繰越事業とした。
- 有害鳥獣対策として、サル用大型捕獲檻の設置、くくりワナ等を配布し有害駆除を実施した。また、緩衝帯整備1か所、柵の設置1か所を実施し、有害鳥獣の出没対策を図った。
- 森林経営管理制度により2地区目として妻籠城山地区の意向調査を広域と連携して行った。また、森林環境譲与税を活用し、森林整備、木材利用促進のほか、新たに林道等路網整備への補助金の新設と、ライフライン保全対策事業を立ち上げそれぞれ実施した。
- 木材利用促進のため、令和2年度で搬出し製材保管していた町有林間伐材を妻籠町並み交流センター建設資材として提供を行った。

### 3. 妻籠宿有料駐車場特別会計

- 妻籠宿有料駐車場特別会計は、妻籠宿保存事業の財源を、令和4年度から駐車場特別会計ではなく一般会計で賄うこととなり、駐車場整備事業の起債償還が

終了している駐車場特別会計は、特別会計として維持する必要性が無くなったことから、令和3年度で特別会計を廃止し、令和4年度から一般会計化することとした。

- 駐車場使用料は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、対元年度比57%の減となった。妻籠宿には、特に国の入国制限の影響が大きく表れ、インバウンド客の皆減が続いている。

#### 【評価】

- 観光協会は、一般社団法人化され協会組織体制も新しくなり2年目となる。旅行業の資格も取得したことから、今後の新たな開発や既存の観光施設を活かした独自の展開が期待される。町はこれを支援していく体制が理想的であり、協会が財政面でも自立できるまで今後も支援を行っていく必要がある。
- 新型コロナウイルスの影響を受けた事業者の緊急支援策や、アフターコロナを見据えた、観光客の誘客対策で、今後も観光振興を図っていく必要がある。
- 妻籠宿有料駐車場運営事業は、令和4年度から一般会計で賄うこととなる。しかし、観光客の激減で使用料の収入は減少し依然厳しい状況が続いていることから、今後も利用者の増加や運営の合理化を図っていく必要がある。
- 中山間直接支払や多面的機能支払事業は、自主的な維持修繕で農地を保全できるほか、農家の所得補償にもなっているため今後も継続が必要である。
- 細ノ洞小水力発電施設は、令和3年1月から供用を開始した。発電により得られた電力を売電し、農業用施設や公的施設の維持管理費等に充てていくため、今後は安定的な稼働に務めていく必要がある。
- 森林造成事業等町上乘補助金は、森林組合の民有林搬出間伐の事業に対する支援であり、健全な森林を維持するために今後も必要な事業である。
- 森林経営管理制度が始まり、2地区目の経営意向調査が行われた。町管理の意思を示す方が多いので、町による健全な森林整備や森林管理に向けて進めていく必要がある。
- 有害鳥獣駆除事業は、農作物被害及び林業被害防止のため、状況を把握しながら継続的な駆除が必要である。また、鳥獣被害対策実施隊の駆除報償や資格保持者の経費負担の軽減を図り、高齢化し減少しつつある実施隊員の確保を図っていく必要がある。

## 7 産業観光課所管

### 1. 商工

#### (1) 商工振興

##### ○雇用対策について

- ・木曾地区雇用対策推進協議会（6月17日）  
木曾地区の雇用情勢等の報告、各町村で意見交換。  
木曾地区高校生向け企業説明会、木曾地区就職面接会の開催。
- ・木曾地域 就業促進・働き方改革検討会議（中止）  
H30 から木曾地域振興局が事務局として設立。町村長・各種団体の長が集まり、木曾地域における産業人材の確保や学生の地域産業への就業促進等について、現状と課題を共有し地域一体となって取り組むことを目的としている。
- ・中津川・南木曾・大桑雇用対策関係市町村連絡会議（7月8日）  
中津川市雇用対策事業との連携（負担金：33千円）  
高等学校求人一覧冊子の作成、配布（蘇南高等学校：3冊、木曾青峰高校：1冊）
- ・公共職業安定所の発行する求人情報を窓口に設置（役場、南木曾会館）

##### ○資金融資措置

中小企業の経営基盤確立のため、県及び町の制度資金（設備・運転資金）に係る融資斡旋を商工会及び県信用保証協会並びに金融機関と連携して実施した。

融資額は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に大幅に増額したが、令和3年度は令和2年度と比べ、減額（△281,490千円）となった。融資内容としては、全て運転資金となった。

- ・町中小企業振興資金（年利2.0%）

預託金 総額 21,500千円

八十二銀行 11,000千円 岐阜信用金庫 6,500千円

木曾農協 4,000千円

- ・融資の状況

町制度資金 0件 0千円

県制度資金 15件 159,400千円

計 15件 159,400千円

※経営健全化支援資金（新型コロナウイルス対策） 13件 152,400千円

信州創生推進資金（創業支援向け） v 2件 7,000千円

- ・制度資金あっせんによる保証料補給

町制度資金 0件 0千円

県制度資金 15件 2,470千円

計 15件 2,470千円

※経営健全化支援資金（新型コロナウイルス対策） 13件 2,331千円

信州創生推進資金（創業支援向け） 2件 139千円

- ・災害影響による借入に対する利子補給

平成 26 年度	4 件	222 千円	※運転資金 4 件
令和 2 年度	32 件	2,226 千円	※運転資金 31 件、設備投資 1 件
令和 3 年度	13 件	911 千円	※運転資金 9 件、設備投資 4 件

#### ○小規模事業者への指導

- ・小規模事業指導費として南木曾商工会に 4,500 千円を交付。経営指導、融資斡旋等を実施。
- ・地域内消費拡大事業補助金として、なぎそ・おたのしみカード会に 200 千円を交付。
- ・カード・商品券事業を実施。

#### ○木材、木工業の振興

- ・ウッディ・クリエイト・ナギソ（WCN）の事業に 104 千円を交付。
- ・第 36 回南木曾町小学生木工造形コンクールの実施（展示は町民展と同時開催）  
応募作品 180 点

#### ○木材産業体験事業

- ・町内木工事業者の協力により、南木曾小学校 3 年生が総合的な学習「南木曾の木を知ろう」で、間伐材を利用した木製テーブル・ベンチ作りを行った。テーブル 4 台、ベンチ 8 台を町内観光地等へ配置した。

事業費 208 千円（県：144 千円、町：64 千円）

設置場所：各保育園、SL 公園

#### ○伝統工芸品の振興

新型コロナウイルスの影響により各種イベント・物産展が中止となり PR 及び販路拡大を図れなかったが、町内の伝統工芸の後継者育成と振興を図るため次の団体に助成を行った。

- |                        |              |        |
|------------------------|--------------|--------|
| ・「南木曾ろくろ細工」（国指定伝統的工芸品） | 南木曾ろくろ工芸協同組合 | 350 千円 |
| ・「蘭檜笠」（県指定伝統的工芸品）      | 蘭檜笠生産協同組合    | 実績なし   |
| ・「田立和紙」                | 田立和紙保存振興会    | 300 千円 |

#### ○木曾勤労者共済会

- ・会 員 数 163 名（令和 4 年 3 月末現在）
- ・加入事業所数 34 企業
- ・共済給付事業 祝 金 24 件 221,000 円  
見舞金 5 件 79,000 円  
弔慰金 8 件 490,000 円.
- ・融資事業（生活資金・住宅改良資金） 0 件  
町村預託金 2,000 千円 長野県労働金庫木曾福島支店
- ・人間ドック利用補助 17 件 64,319 円
- ・勤労者共済会組織町村負担金 996,013 円

○新型コロナウイルス感染症の影響を受けての事業者支援関係

・事業継続支援給付金給付事業（長期）

町に所在地があり、令和2年1月～12月の売上げが前年比で20%以上減収した事業者に対し、上限100千円を町独自の支援金として給付を行った。

事業者	7件	700千円
委託料（商工会）		20千円
計		720千円

・事業継続支援給付金給付事業（短期）

町に所在地があり、令和3年1月～6月のうち3ヶ月の売上げ合計が令和元年（平成31年）比で30%以上減収した事業者に対し、上限200千円を町独自の支援金として給付を行った。

事業者	79件	14,854千円
委託料（商工会）		218千円
計		15,072千円

・事業継続支援給付金給付事業（特別）

国の月次支援金、県の新型コロナ中小企業等特別応援金の給付要件を満たす事業者に対し、一ヶ月の売上額が、前年もしくは前々年比で50%以上減収した事業者に対し、一事業者あたり100千円を町独自の支援として給付を行った。

事業者	37件	3,654千円
-----	-----	---------

・飲食業等緊急支援給付金

1月に発生した第6波の影響を受けて活動自粛が進んだことにより、経営状況が厳しい状況にある酒類を提供し夜間も営業する飲食店及び交通事業者に対し、令和4年1月の売上額が、令和2年1月比で50%以上減収し、且つその減少額が50千円以上の事業者に対し、一事業者あたり100千円を町独自の支援として給付を行った。

事業者	5件	459千円
-----	----	-------

・セーフティーネット制度資金保証料支援、利子補給事業

セーフティーネット保証制度で4号認定された中小事業者で、長野県経営健全化資金及び町中小企業振興資金の融資を受けた場合に、保証料を町で補助を行った。

融資保証料	13件	2,331千円
利子補給金	13件	911千円
計		3,242千円

・観光案内所等観光施設感染症対策事業

不特定多数の観光客による感染拡大防止を図るため、観光協会事務所及び観光案内所にモニターを設置し、新しい生活様式など多言語で映し出し注意喚起を行った。また、観光協会事務所の窓口には、マイク及びパーテーションを設置し、非接触でマイクによる観光案内を行えるようにした。

事業費	967千円
-----	-------

・事業者施設等感染防止対策事業

感染リスクを抱え、事業継続に心配がある事業者に対して、アルコール消毒液及び簡易噴霧器を配布し、事業所内の感染リスクの軽減を図る。

また、オミクロン変異株の流行により、不安を抱える事業者に対して、配布用の抗原検査キットを購入し、希望があった場合は事業所に配布している。

事業費 4,453 千円

(2) 消費生活

○消費者相談等への対応

- ・町への苦情相談問い合わせ件数 3 件（内 クーリングオフ手続き指導：2 件、契約解除指導：0 件、警察・消防へ通報・情報提供：0 件、放送による周知：0 件、相談受付のみ：1 件、県消費生活センター斡旋：0 件）
- ・広報誌、広報無線などで被害防止の周知活動を必要な都度実施

○リサイクル運動 廃油の回収

※令和元年 7 月以降、中津川市の業者に無料回収を依頼している。

(3) 運輸関係

○中央西線輸送強化期成同盟会部会

木曾地域交通網対策協議会で、JR への要望活動を実施。

令和 3 年 8 月 18 日 8/14・15 豪雨災害に伴う災害に対する緊急要望活動

令和 3 年 10 月 29 日 「長野県 JR 連絡調整会議」（県庁）

令和 4 年 3 月 4 日 JR 東海本社への要望活動

○南木曾駅窓口業務の受託（平成 24 年 10 月 1 日～）

JR 東海の南木曾駅無人化を受け、窓口での乗車券類の販売業務を町が受託して実施。新型コロナウイルス感染症の影響により観光客の利用減。

- ・窓口営業時間 午前 7：50～午後 4：05  
(昼休憩 11：10～11：30 12：35～13：15)
- ・業務時間 午前 7：30～午後 4：30
- ・窓口従事者 1 人体制
- 乗車券類販売額 18,398 千円 (R2 15,511 千円) ※前年比+18%
- 販売手数料 793 千円 (R2 637 千円) ※前年比+24%
- ※販売額の乗車券 5%、定期券 1.8%
- ・運営経費 4,159 千円 (委託料:4,000 千円 使用料:158 千円)
- ※R2 4,143 千円 (委託料:4,000 千円 使用料:143 千円)

(4) 地元特産品の宣伝・開発等

○工芸街道祭り（実行委員会主催）

中止

## 2. 観光

### (1) 観光行事、イベント関係

○第19回なぎそミツバツツジ祭り（実行委員会主催）	中止
○妻籠宿火まつり	中止
○与川古典庵の観月会	9月21日（外部に未周知）
○田立の花馬祭り	中止
○工芸街道祭り	中止
○文化文政風俗絵巻之行列	中止
○新春狼煙上げ	1月4日

### (2) 観光施設

- 観光施設修繕工事等 合計 1,998,035円
  - ・南木曾岳登山道（蘭側ルート）笹狩り・田立の滝遊歩（不動岩・天然公園）笹刈り、桃介記念館雨樋修繕、一石枡トイレ修繕 他
- 観光施設、登山道、歩道等の維持管理（草刈、小修理など）
  - ・田立の滝登山道、柿其溪谷遊歩道、南木曾岳登山道、与川歴史の道、SL公園、他
  - ・天白公園ツツジ園 中学生によるボランティア整備作業を2回実施。シルバー人材センターへは、整備作業を委託して実施しているほか、ボランティア作業もお願いしていますが、令和3年度については、ボランティア作業は雨のため中止となった。
- 観光案内板等の小修理、維持管理
  - ・田立の滝、南木曾岳、柿其溪谷、天白公園、妻籠宿、他
- 福沢桃介記念館と山の歴史館 指定管理委託：桃介橋河川公園組合  
（指定期間）令和3年4月1日から令和8年3月31日まで（5年間）  
指定管理料：1,600,000円（河川公園と併せて）

(利用状況)

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	3月	合計	R2実績
177	82	80	88	82	101	239	194	27	1,070	766

※12月～3月下旬まで冬季閉館

※新型コロナウイルス感染症流行前に比べて利用者は依然減少しているが、令和3年度は令和2年度に比べて39.7%増加した。

### (3) 広域観光連携の取り組み

#### ○木曾観光連盟・観光宣伝協議会と連携した取り組み

- ・タイアップポスターによる宣伝…JR 東海の主要駅・在来線内に掲出
- ・インバウンド向けパンフの増刷と充実化…パンフの増刷と英語版データを作成
- ・宿場町散策マップのリニューアル
- ・著名人による観光コンテンツの発掘及び情報発信…絶景プロデューサーを起用した SNS 情報発信

#### ○木曾広域観光振興プロジェクト会議との連携

- ・茶摘み体験と郷土食を味わうプログラム 5月15日～16日 12名参加
- ・里山の衣食住体験ツアー 11月11日～12日、11月13日～14日 8名参加  
結い庵（上の原）にて、藍染め体験及び流木を使った一輪挿し作成
- ・紙漉きツアー 2月26日～27日 6名参加
- ・「季刊誌木曾路（年4回発行）」による旬な情報発信

#### ○中津川市、阿智村、木曾広域圏との連携

- ・県際交流協議会 広域観光連携の推進 着地型旅行商品の研究  
（南木曾町・中津川市・大桑村・上松町・王滝村・阿智村）

#### ○伊那路・木曾路広域観光連携会議との連携

- ・伊那路・木曾路広域連携観光 PR 展（中止）
- ・ツーリズム EXPO ジャパン（中止）
- ・伊那路木曾路広域観光連携促進フォーラムの開催（中止）

#### ○尾張藩連携事業推進協議会との連携

かつての尾張藩に所縁のある名古屋市、犬山市、郡上市、下呂市、中津川市、塩尻市、木曾郡6町村の自治体と民間企業が連携し、名古屋を起点とする昇龍道中央エリアを周遊する尾張藩周遊ルートを新たに形成し、欧米豪からの集客を目的とした広域観光プロモーションを実施するために令和元年度に尾張藩連携事業推進協議会を設立し、名古屋市が中心となってプロモーション事業を行った。

#### ○中央アルプス国定公園指定記念事業実行委員会

- ・国定公園指定記念 中央アルプス山岳フォーラムの開催 7月10日



#### (4) 観光協会等

##### ○(一社)南木曾町観光協会 (町補助金:12,000千円)

観光庁の補助金を有効利用し、町をはじめ関係関連団体と協調、協力しながら、「妻籠宿と中山道ハイキングの魅力向上実施事業」等を実施した。

宣伝事業として観光案内業務の他に下記の事業等を推進した。

- ・中山道を軸とした伝統産業や強度祝型の体験型モニターツアーを実施した。
  - ・デジタルコンテンツを活用した中山道ハイキングの環境を整備した。
  - ・馬籠峠から根ノ上峠までの魅力向上のため、講師を招聘し、観光案内人のスキルアップセミナーを実施した。
  - ・冬の南木曾町を深く味わう地域密着型モニターツアーを実施した。
  - ・南木曾駅観光案内所 1日1名(年末年始除く。観光客案内、駅前公園の清掃等)
  - ・メディア関係広告掲載
  - ・新聞広告、旅行紙広告に観光協会とタイアップして掲載(年間随時)
  - ・各種取材、TV放送取材の対応
  - ・南木曾町観光協会公式ホームページ「ぶらり南木曾」英語版、スマホ英語版の対応管理、運営
  - ・ぶらりなぎその更新及び印刷
- ※町からの委託業務
- ・南木曾駅切符販売業務(委託料4,000千円)
  - ・南木曾駅前公衆トイレ管理(委託料500千円)
  - ・南木曾町観光宣伝業務(委託料3,190千円)

##### ○木曾観光復興対策協議会

観光業を中心として御嶽山の噴火により深刻な影響を受けた木曾地域の復興を図るため、県、郡内町村、木曾広域連合、木曾観光連盟、木曾郡内観光協会等で組織する協議会を平成26年度に設立。復興事業、PR活動等実施している。

○町加盟団体:木曾観光連盟、長野県観光連盟、みなみ木曾路連絡協議会、中央アルプス山岳観光協議会、日本桜の会、国有林観光施設協議会、日本の森滝渚全国協議会、木曾地区温泉協会、全国街道交流会議、信州まつもと空港利用促進協議会、南木曾伝統工芸の森育成協議会、伊那路木曾路広域観光連携会議、尾張藩連携事業推進協議会

○南木曾駅観光案内所対応件数 (※窓口で対応した件数・人数。外国人は通過者数。)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
問 合 件 数	R3	316	231	144	158	182	220	363	439	172	108	91	238	2,662
	R2	99	8	134	133	192	277	449	452	218	80	144	271	2,457
	R元	1,244	1,033	730	837	970	944	1,203	1,097	406	334	298	422	9,518
	H30	1,065	893	641	746	833	843	1054	885	348	249	314	695	8,566
案 内 人 数	R3	564	417	226	287	280	321	653	789	265	140	145	363	4,450
	R2	160	12	224	248	322	504	818	946	341	97	222	409	4,303
	R元	3,037	2,602	1,796	2,102	2,325	2,169	2,993	2,594	894	700	614	861	22,687
	H30	2,645	1,971	1,344	1,799	1,903	1,887	2,630	2,191	833	535	688	1,659	20,085
外 国 人	R3	53	60	20	32	21	52	56	77	11	12	7	21	422
	R2	48	4	45	49	44	56	86	96	37	1	28	34	528
	R元	4,402	3,538	2,399	2,902	3,067	3,060	4,723	3,539	781	607	529	643	30,190
	H30	4,463	3,315	1,850	2,680	3,000	2,602	4,159	3,128	732	431	498	2,004	28,862

○観光客入込数

単位：百人

	妻籠宿	柿其溪谷	田立の滝	南木曾 山麓	南木曾 温泉郷	富貴畑高原 温泉郷	合計
R3	1,393	35	85	123	832	66	2,534
R2	1,673	78	68	172	979	84	3,054
R元	3,867	135	49	184	1,847	132	6,214
H30	3,655	138	39	169	1,121	140	5,262

※この数値は、県観光統計公表値を使っていますが、令和3年度中に令和2年度の数値の変更がありました。

○中山道馬籠峠を越える外国人ハイカー [(公財) 妻籠を愛する会調べ]

地点：一石栃立場茶屋

単位：人

R3	859	R2	1,138	R元	37,823	H30	31,426
----	-----	----	-------	----	--------	-----	--------

### 3. 地域交流

○「日本で最も美しい村」連合（もっと元気に戦略室へ所管移転）

○長久手市との交流

- |      |                    |                   |
|------|--------------------|-------------------|
| ・ 通年 | 観光施設で交流町村優待サービス事業  |                   |
| ・ 通年 | 新生児祝い品事業           | 実績数：526件（R2：644件） |
| ・ 中止 | 平成こども塾受け入れ（マスつかみ等） | 南木曽町              |
| ・ 中止 | ながくて市民まつり          | 長久手市              |

○上下流交流（もっと元気に戦略室へ所管）

○木曽三川流域連携

- |         |                 |       |
|---------|-----------------|-------|
| ・ 5月26日 | 第1回木曽三川流域連携課長会議 | Web会議 |
| ・ 8月25日 | 第2回木曽三川流域連携課長会議 | Web会議 |
| ・ 2月15日 | 第3回木曽三川流域連携課長会議 | Web会議 |

## 4. 農政関係

### (1) 農業委員会事務局関係

#### ① 定例農業委員会

- ・開催回数 12回（毎月）

#### ② 審議、活動等内容

- ・農地案件の現地確認調査、審議
- ・農業経営基盤強化促進法による利用権設定の審議
- ・農地利用の最適化にむけた地区懇談会への参画
- ・転作の現地確認・中山間直払等現地確認
- ・遊休農地に関する措置の状況調査
- ・農地無断転用防止のパトロール活動
- ・農作業安全運動推進PR
- ・農作業標準料金の審議
- ・農地農家台帳システムの整備（eMAFFへの移行）
- ・町内各生産部会等への参画
- ・全国農業新聞普及、拡大の取り組み
- ・長野県農業委員大会と各種研修会（県農業会議・情報活動・郡事務研）への参加

#### ③ 農業委員名簿

ア. 農業委員 (任期 令和3年2月15日～令和6年2月14日)

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
伊藤 兼彦	妻籠	地区推薦	小倉 勉	与川・三留野	地区推薦
早川 親利	三留野・妻籠	地区推薦	山川あゆみ	与川・三留野	地区推薦
片田 恵	田立・妻籠	団体推薦	青木 房江	蘭・広瀬	団体推薦
高橋 徳	田立	地区推薦	古川 和久	蘭・広瀬	地区推薦
松原 徳則	与川・三留野	地区推薦	松原 正典	与川・北部	地区推薦
古井小恵子	田立	地区推薦	11名		

イ. 農地利用最適化推進委員 (任期 令和3年2月15日～令和6年2月14日)

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
松原 規行	読書全域	地区推薦	松下 建三	吾妻全域	地区推薦
小幡 悟	田立全域	地区推薦	3名		

#### ④ 農地関係取扱件数 (面積は小数点以下第1位で四捨五入)

内 容	件数	面積(m <sup>2</sup> )
農地法第3条による所有権移転 (売買等による農地の所有権移転)	6	17,986
農地法第4条による農地転用 (所有者による農地以外への転用)	3	535
農地法第5条による農地転用 (所有権移転または貸借等の権利設定を伴う農地以外への転用)	7	20,551
公共的事業等に伴うによる農地転用	1	136
非農地証明	1	807

参考：農地以外への地目変更面積 22,029 m<sup>2</sup>

(2) 農業振興関係

①経営所得安定対策と米政策

経営所得安定対策では、米・麦・大豆等について、需要に応じた生産の促進と水田農業全体としての所得向上等により、農業経営の安定を図るため実施されている。町では木曾郡農業再生協議会を中心に米及び有利な転作作物の推進を図った。

町内農家等に交付された交付金は総額 8,804 千円（R 2 年度 7,020 千円）となった。

ア. 水田活用の直接支払交付金

・戦略作物助成 (前年)

作物名	単価 (円/10a)	面積 (㌥)	交付金額 (円)
大豆	35,000	8 (3)	28,000 (10,500)
飼料作物	35,000	529 (760)	1,851,500 (2,660,000)
発酵用稲 (WCS)	80,000	607 (325)	4,856,000 (2,600,000)
合計		1,144 (1,088)	6,735,500 (5,270,500)

・県、郡産地交付金

	単価 (円/10a)	交付金額 (円)
産地交付金	※下記単価参照	2,068,929 (1,750,292)

水田における生産性向上等の取組助成(10㌥当り単価:そば 4,042 円、大豆 6,014 円、飼料作物 6,211 円、WCS 用稲 17,649 円) 高収益作物の取組助成(ハクサイ・スイートコーン・赤カブ 19,720 円、インゲン・トマト・エゴマ・トルコギキョウ・ユリ・リンドウ 15,776 円) そば作付助成(20,000 円)

イ. 水田農業共同利用施設整備事業補助金

事業主体 JAファーム

事業内容 3 条刈コンバイン購入 1 台

事業費 6,500,000 円 補助金 1,461,400 円

②地域農業対策

地域営農体制の整備、農地の有効活用により持続的な農業生産を可能とする農業構造を構築するため、各種の取り組みを実施した。

ア. 農業関係制度資金利子補給金 1 名 9,974 円

イ. 農業振興小規模資金及びつなぎ資金関係

令和 3 年度利用実績 0 件 貸付現在高(令和 3 年度末) 0 件 0 円

ウ. 農振農用地一般管理事業

編入面積 0 ㎡ 除外面積 1,213 ㎡ 用途変更 0 ㎡

エ. 農地利用集積計画

利用権設定面積(農業経営基盤強化促進法に基づくもの)

年度	設定面積	年度末計画面積合計
平成 30 年度	5.2ha	26.6ha
令和元年度	5.3ha	25.7ha
令和 2 年度	8.2ha	22.2ha
令和 3 年度	5.8ha	25.0ha

(設定面積は該当年度における利用権の新規設定及び更新の合計)

オ. 人・農地プラン

中山間直接支払集落協定毎にプランの詳細や見直しについて話し合いを行った。  
26 集落中 5 集落で実施。他の集落は今後実施する予定。

③ 中山間地域等直接支払制度

中山間地域等直接支払い制度は第 5 期対策（令和 2 年度から令和 6 年度まで）を実施中。協定集落 26 集落

交付金 35,353,137 円（内訳：国 17,676,561 円 県 8,838,266 円 町 8,838,310 円）

集落名	面積（㎡）	交付金（円）	集落名	面積（㎡）	交付金（円）
与川一区	87,926	1,716,666	橋場	51,246	1,052,033
与川三区	73,814	1,468,194	大妻籠下り谷	61,300	1,276,299
与川四区	67,033	1,319,749	上在郷	48,689	1,119,729
与川五区	32,675	686,175	尾越	21,802	457,842
十二兼	40,443	792,211	上段	53,448	1,122,408
本谷	81,034	1,701,714	蘭	18,864	396,144
岩倉	84,089	1,842,963	元組	87,843	1,844,703
椰野	20,850	437,850	向栗畑	104,036	2,142,476
川向	27,712	409,209	栗畑	118,324	2,416,313
上の原	133,342	3,120,823	下切	80,922	1,812,148
神戸	31,351	706,491	大野	64,386	1,628,496
渡島	11,326	203,231	正兼	80,782	2,071,230
妻籠町上	40,112	818,604	塚野	129,038	2,789,436
			合計	1,652,387	35,353,137

④ 園芸特産振興事業

ア. 茶の振興関係

・ 田立製茶工場

操業 5 月 6 日～5 月 28 日（23 日間）生葉受入 12.6 トン（前年度 13.3 トン）

・ 第 48 回長野県茶の共進会

開催日 7 月 5 日（月） 場所 南信農業試験場

総出品点数 30 点（内、町内出品点数 6 点）

町内入賞者 特別賞 小幡貴代子

イ. 野菜関係

農家の自主的運営で野菜の直売や道の駅、A コープで販売されている。

町内の無人販売所 2 箇所（田立）

地元消費拡大を目的に生産、販売、商工、観光、学校関係者で「地産地消推進協議会」を組織して軽トラ市場部会と学校給食部会が活動を行った。

軽トラ市場は、昨年と同様に長雨の影響で野菜の生育が悪く、販売できる量の確保が困難だったこと及びコロナ感染予防のため、7 月から 12 月までのうち 7 回のみの開催となった。

学校給食の食材供給者に対する補助は、例年どおり運搬費補助を実施した。

軽トラ市場なぎそグリーンマーケット開催状況 ( ) は前年数値

開催数	売上合計	延べ出店者数	主な開催場所
7回 (4回)	258,200円 (119,800円)	40店 (19店)	南木曾駅横駐車場

学校給食食材提供運搬補助実績 ( ) は前年数値

【小学校】			【中学校】		
延べ回数	補助額(円)	売上合計(円)	延べ回数	補助額(円)	売上合計(円)
140回 (115回)	41,840円 (29,790円)	248,734円 (257,264円)	269回 (180回)	69,465円 (47,265円)	337,741円 (211,330円)

ウ. 花卉・花木関係

各農家がJAを通じて出荷を行った。

出荷数量

品種	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ヒペリカム	3,255本	6,025本	3,160本	3,160本	2,810本
こうやまき	14,725本	23,171本	29,377本	30,614本	37,725本

エ. みつばちふそ病関係

ふそ病検査を、松本家畜保健衛生所に協力して実施した。(対象戸数7戸)

ふそ病の発生の確認なし。

広報誌により新規飼養者への届出等の必要性について周知を行った。

オ. 園芸特産品振興事業補助金

パイプハウス設置事業補助金 2件 補助金 359,324円

【補助率 1/2 上限 30万円】

⑤ 畜産振興事業

ア. 家畜飼育状況 (令和4年3月現在) (単位:頭)

年度	乳牛		肉用牛	
	農家数	成乳牛数	農家数	繁殖牛数
H29	1	32	9	64
H30	1	23	8	63
R元	1	22	8	71
R2	1	22	8	76
R3	0	0	7	83

イ. 家畜市場（子牛）状況の推移（令和4年2月末現在）

（単位：千円）

年度	雌		去勢		子牛全体		売上合計
	頭数	平均金額	頭数	平均金額	頭数	平均金額	
H29	26	693	33	780	59	742	43,775
H30	28	678	24	770	52	720	37,462
R元	18	669	26	782	44	747	32,883
R2	24	603	30	705	54	660	35,633
R3	15	587	34	732	49	687	33,677

ウ. 家畜診療関係

平成16年度からNOSAI長野中信地域センター（旧NOSAI中信診療所）へ委託。

令和3年度負担金 353,000円

エ. 畜産振興事業補助金

○素牛導入事業

・素牛導入 3頭 補助金 672,000円 【補助率 1/2 上限 30万円】

・自家保留 3頭 補助金 180,000円 【定額 6万円/頭】

○畜舎新築事業 畜舎 1棟 補助金 300,000円 【補助率 1/2 上限 30万円】

オ. 町有牛導入事業

令和3年度の町有牛の導入はなし。

年度末保有町有牛 5頭 評価額 計 4,309,410円

カ. 長者畑草地関係

長者畑草地利用組合の解散により、令和元年度から町管理となった。

返地に向けて木曾森林管理署との協議を進める予定だったが、JRのリニア残土処理場の候補地として検討に上がったため中断し、木曾森林管理署の転貸借許可を得てJRが環境調査及び地質調査を実施した。

キ. 大原公共採草地管理関係

大原公共採草地管理組合（組合員4戸）

牧草を播種し草地として利用を継続している。

一部を公共工事の残土処理場として施工している。施工後は複数のほ場を一つにまとめたほ場として復旧する。

ク. 放牧関係

牛の放牧は、遠方で管理することの負担が大きいため減少傾向にあるが、畜舎の近隣での放牧は継続して行っている。

牛の放牧の他、綿羊（サフォーク種）の放牧は引続き実施している。牛に比べて移動が容易である等のメリットはあるが、個体数が少なく需要に追いついていない状況である。

放牧期間・面積 5月から10月（6カ月）約 5.5ha

主な放牧場所：与川・椰野・上の原・塚野



ケ. 畜産クラスター事業関係

畜産農家、J A、県、町で構成する繁殖和牛生産振興ネットワーク協議会の事業。  
自給飼料の拡大や機械導入を計画、実施していく協議会。

○機械導入事業等

実施農家 1 戸

- ・カッティングロールベラー 1 台

価格 2,760,000 円 補助金 1,380,000 円 【補助率 1/2】

- ・ラッピングマシン 1 台

価格 1,470,000 円 補助金 735,000 円 【補助率 1/2】

○生産基盤拡大加速化事業（増頭事業）

該当農家 3 戸 増頭数 6 頭 増頭奨励金 1,476,000 円 【246,000 円/頭】

⑥農作物有害鳥獣被害対策事業補助金

電気柵等を購入、設置した場合の購入経費を補助。

（中山間地域直接支払制度受益農地は対象外）

実績：1 件 補助金 30,000 円 【補助率 1/2 上限 3 万円】

⑦農業技術の普及・改善・指導・試験研究

農業関係の普及事業等について木曾農業農村支援センターや J A との連携及び農技連の活動により推進した。

- ・農事(気象・防除等)に関する広報活動、農作業安全月間啓発活動
- ・稲作現地指導会 6 月に 26 か所で実施
- ・のうさいドローンによる水稻防除作業への協力
- ・水田の水管理装置（遠隔監視）試験
- ・ヒペリカムやコウヤマキの出荷目揃い会等 7 月
- ・蘇南高校そば栽培協力 7 月
- ・えごま栽培講習会 年 4 回

(別表)

令和3年度 農政関係主要事業

1. 農業委員会事務局関係

単位：千円

事業名	事業量	事業費	左の財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
農業委員会運営経費（最適化事業）	14名	3,623		1,561			2,062	
機構集積支援事業		1,115					1,115	農地台帳保守
合計		4,738		1,561			3,177	

2. 農業振興関係

単位：千円

事業名	事業量	事業費	左の財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
水田農業構造改善対策事業		238		113			125	
水田農業共同利用施設整備事業補助金	コンバイン1台	1,461					1,461	J A事業費6,500
中山間地域等直接支払交付金	165ha	35,353	17,677	8,838			8,838	
パイプハウス設置事業補助金	2件	359					359	
素牛導入事業	6頭	852					852	うち自家保留3頭
畜産振興事業補助金	畜舎1棟	300					300	畜舎建設6,500
NOUSAI家畜診療所運営負担		353					353	

## 5. 農村整備関係

### (1) 町単小規模修繕事業

#### ① 土地改良施設修繕

中山間直接支払制度の対象地域外の施設修繕を実施した。

(水路2件)

#### ② 土地改良施設原材料支給

各地区で実施する農道整備のための原材料支給を行った。

(農道1件)

※事業費等、別表参照

### (2) 土地改良施設維持管理適正化事業

塚野地区「掘立水路」を施工した。

※事業費等、別表参照

### (3) 農地農業用施設災害復旧事業

令和3年災は、豪雨により5月に44箇所(農地15箇所、農道8箇所、頭首工1箇所、水路20箇所)、8月に13箇所(農地1箇所、農道2箇所、頭首工1箇所、水路9箇所)が被災した。被災した農地・農業用施設の内5箇所(農地2箇所、農道2箇所、頭首工1箇所)については、国庫補助事業にて復旧工事を実施し、その他は町単災害復旧事業により復旧工事を実施した。また、国庫補助事業2箇所、町単災害復旧事業4箇所については、次年度へ繰越となった。

※事業費等、別表参照

### (4) 県単緊急農地防災事業

土砂崩落危険箇所台帳に登録された危険性の高い水路を対象に県営で整備するもので、町は測量試験費と長土連特別賦課金を負担し、県が工事を施工する事業。

令和3年度は、向栗畑地区「ネギ様ため池」の新規地区採択申請を行い、工事は次年度へ繰越となった。

※事業費等、別表参照

### (5) 農村地域防災減災事業

上越野・下切跨線橋(JR跨線橋)は、令和元年度に大規模地震に対する耐震性の評価・耐震補強の検討を行い、災害防止効果の算定や事業計画を策定した。令和2年度に新規地区採択申請を行い、令和3年度に事業採択された。

令和3年度は、県営事業にて橋梁点検業務を実施した。

(6) 小水力利活用促進事業

平成30年度から令和2年度にかけて建設工事を行い、令和3年1月1日から供用開始し、発電した電気は中部電力パワーグリッド㈱へ売電している。

①細ノ洞発電所の主要設備

横軸ペルトン水車 (UNTERLERCHER社) 1基 オーストリア製  
 三相誘導発電機 (AREND社) 1基 ドイツ製  
 水車制御盤 (㈲イー・セレクト) 1台  
 パワーコンディショナー 5台  
 沈砂池・ヘッドタンク L=15.18m W=1.0m H=0.9~1.45m  
 導水管 強化プラスチック複合管 φ=250mm L=約250m  
 高密度ポリエチレン管 φ=250mm L=約345m

②細ノ洞発電所の運営状況

歳入		歳出	
売電収入 (R3.3.5~ R4.3.6売電分)	7,816,444円  208,996kWh×37.4円 時間平均約23.8kWh	電気料	124,985円
		一般修繕費	693,000円
		委託料	1,500,744円
		使用料	65,840円
		他事業への充当	3,411,897円
		基金積立金	2,019,978円
合計	7,816,444円	合計	7,816,444円

(7) 国土調査事業

令和3年度の国土調査事業は、田立栗畑地区の山林部を実施した。

調査区名	事業内容	事業費
田立の一部 26区	地籍図原図作成、地積測定、地籍図及び地積簿作成、最終取りまとめ 0.17km <sup>2</sup>	10,654,308円 (8,800,000円)
田立の一部 27区	地籍図根三角測量、地籍図根多角測量、一筆地調査、細部図根測量、一筆地測量 0.24km <sup>2</sup>	( ) 内補助対象額

※事業費等、別表参照

国土調査実施地区一覧

年 度	地 区 名	成果 面積	成果 筆数	区 分	認証日	登記完了 日
52 - 18	本谷～下切 28 地区	(k m <sup>2</sup> ) 17.23	(筆) 23,830	平地		
18 - 22	下切・塚野の一部 (山林) 4 地区	2.52	144	山林		
22 - 23	塚野の一部 (山林)	0.18	31	山林	24.11.12	25. 3. 8
23 - 24	塚野の一部 (山林)	0.14	44	山林	25.11.20	26. 6. 6
24 - 25	塚野の一部 (山林)	0.09	25	山林	29.11. 9	30. 2. 5
25 - 26	塚野の一部 (山林)	0.33	71	山林	30. 5. 7	30. 8.10
26 - 27	塚野・大野正兼の一 部 (山林)	0.46	105	山林	31. 2.21	元. 5.28
27 - 28	大野正兼の一部 (山 林)	0.29	62	山林	元. 8.29	元.10.16
28 - 29	大野正兼の一部 (山 林)	0.39	156	山林	2. 7. 6	2. 9.29
29 - 30	大野正兼の一部 (山 林)	0.29	72	山林	3. 3.31	未
30-元	粟畑・大野正兼の一 部 (山林)	0.24	84	山林	4. 1.6	未
元-2	粟畑の一部 (山林)	0.38	37	山林	未	未
2-3	粟畑の一部 (山林)	0.17	96	山林	未	未
3-4	粟畑の一部 (山林)	0.24	113	山林	未	未
計		22.95	24,870			

地籍調査対象面積 73.96k<sup>2</sup> (平坦部17.23k<sup>2</sup> 山林部56.73k<sup>2</sup>)

平坦部成果面積計 17.23k<sup>2</sup> (進捗率100%)

山林部成果面積計 5.72k<sup>2</sup> (進捗率10.1%)

(8) 多面的機能支払交付金事業

第2期対策（令和元年度から令和5年度）の3年目。（15活動組織）

農地の維持や施設の長寿命化に取り組む活動に対して交付金を交付。

交付金5,439,036円（内訳：国2,719,518円 県1,359,759円 町1,359,759円）

地区名	実施面積 (a)	支払交付金 (円)	地区名	実施面積 (a)	支払交付金 (円)
与川1区	843	576,224	神戸	279	176,700
与川3区	678	286,528	元組	898	268,700
与川4区	669	386,448	向粟畑	1,056	655,800
与川5区	329	98,700	粟畑	1,074	643,000
岩倉	842	645,512	下切	862	246,800
榑野	189	56,700	大野	626	280,448
川向	276	73,000	正兼	799	504,700
上の原	1,227	539,776	合計	10,647	5,439,036

(9) 南木曾町耕作条件改善事業

基盤や排水の不具合が発生している圃場が増えてきたことから、令和元年度に中山間集落協定地を対象として実態調査を行ってきた。

令和2年度に国庫補助事業を活用した圃場改修の内部検討を進め、令和3年度に関係機関と協議した。協議の結果、国庫補助事業の採択要件を満たすことが困難な為、町単事業に切り替え具体的な内容について検討した。

(参考)

令和元年度に実施した調査対象圃場 1,920筆 1,715,563㎡

主な調査結果

基盤の不具合がある圃場 273筆

改修が必要な面積 27,579㎡（調査対象ほ場の1.6%）

排水の不具合がある圃場 123筆

[別表]

令和3年度 農村整備関係 主な建設事業及び補助事業

1. 土地改良事業関係  
(1) 農道整備事業関係

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			内 記	備 考
				国庫支出金	県支出金	地方債		
町農道整備事業	沼田	原材料支給 1箇所	23			23		生コンクリート V=1.0m <sup>3</sup>
農村地域防災減災事業	上越野、下切 跨線橋	県営農村地域防災減災事業 上越野下切跨線橋地区負担金	3,380		3,000		380	県営事業負担金
小 計			3,403		3,000	23	380	

(単位：千円)

(2) かんがい用水路改良事業

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			内 記	備 考
				国庫支出金	県支出金	地方債		
土地改良施設維持管理適正化事業	塚野 (堀立)	実施設計 一式 水路改修 水路工L=27.6m	990	3,300		1,258	4,723	
町単水路改良事業	川向	水路修繕 2箇所	259			259		
県緊急農地防災事業	向栗畑 (ホ式様)	実施設計 一式	814				814	県営事業(ため池改修一式) ※次年年度繰越
小 計			13,654	3,300		1,517	5,537	

(単位：千円)

(3) 災害復旧事業関係

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			内 記	備 考
				国庫支出金	県支出金	地方債		
国庫災害復旧事業	恋野	査定設計 一式	352					5月豪雨災害 練石積工 A=29m <sup>2</sup>
		実施設計 一式	143	2,975		102		
		農地復旧工 A=0.04ha	3,850					
	栗畑	査定設計 一式	198					5月豪雨災害 フトン積工 ΣL=43.0m (3段積みL=5.0m 4段積み L=7.0m)
		実施設計 一式	77	1,935		65	772	
農地復旧工 A=0.08ha		2,497						
与川三区	査定設計 一式	660					5月豪雨災害 1工区 ブロック積工A=48m <sup>2</sup> 2工区 ブロック積工A=29m <sup>2</sup>	
	実施設計 一式	275	7,601		17	1,347		
	農道復旧工 L=15m	8,030						
上在郷	査定設計 一式	4,147	2,048			2,099	8月豪雨災害 ※復旧工事は次年年度繰越	
	査定設計 一式	121	60			61		
塚野	修繕 48箇所 (農地13箇所・農道7箇所・ 頭首工1箇所・水路27箇所)	査定設計 一式	16,121			422	15,699	※次年年度繰越 4箇所 (農地1箇所、農道1箇所 水路2箇所)
		査定設計 一式						
		査定設計 一式						
小 計			36,471	14,619		606	21,246	

(単位：千円)

土地改良事業合計

事業費	53,528	17,919	3,300	3,000	2,146	27,163
-----	--------	--------	-------	-------	-------	--------

(単位：千円)

2. 国土調査事業関係

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			内訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
国土調査事業	田立26区 27区 (栗畑山林)	26区 (0.17km <sup>2</sup> : 96筆)	10,654	4,400	2,200			4,054	
		27区 (0.24km <sup>2</sup> : 113筆)							
国土調査事業合計			10,654	4,400	2,200			4,054	
農村整備関係合計			64,182	22,319	5,500	3,000	2,146	31,217	

(単位：千円)

(単位：千円)



## 6. 林 務

### (1) 林業振興関係

#### ① 民有林振興対策事業

民有林振興対策として林業家の森林整備意欲等の向上を図るため補助を行った。

#### ア. 林業指導啓発事業

南木曾町森林組合による民有林の指導啓発活動をはじめ林業職員の技術向上事業に対して988,000円を補助した。

#### イ. 造林事業

森林所有者の負担軽減を図るため、除間伐を中心とする森林造成事業の森林整備費として森林組合を通じて821,262円を補助した。

実施された造林事業は、次のとおりである。

(単位：ha・円・m)

作業種	3年度		2年度		元年度		備 考
	事業量	補助金額	事業量	補助金額	事業量	補助金額	
地拵え	—	—	—	—	—	—	
新 植	—	—	—	—	—	—	
下 刈	2.40	—	5.40	—	—	—	
枝 打	—	—	—	—	3.0	—	
除 伐	3.0	—	—	—	3.0	—	
獣害防止	1.88	—	—	—	2.0	—	
間 伐	33.25	821,262	30.35	777,177	30.44	851,951	
除間伐	—	—	—	—	—	—	
搬出間伐	9.39	—	6.79	—	5.56	—	
改 植	—	—	—	—	—	—	
その他	—	—	—	—	—	—	
(竹林整備)	—	—	—	—	—	—	
合計	49.92	821,262	42.54	777,177	44.00	851,951	
作業路	589	—	751	—	725	—	

\*町有林整備事業を含む。

#### ウ. 特認事業

林業後継者対策事業として、南木曾町林業研究クラブに150,000円を補助した。

#### エ. 森林経営管理制度

木曾広域連合内に設立した森林経営管理制度に対応する部署と連携し、与川川合地区(23林班)の再委託先募集と森林整備、妻籠城山地区(56林班)の意向調査を行った。

木曾広域連合負担金：5,087,000円 与川川合地区(23林班)整備費：495,000円

#### オ. 木造公共建築物整備

令和3年度建設した妻籠町並み交流センター用資材として、製材して保管していた町有林材の柱材、板材の仕上げ工程を行い18.46㎡供給した。

#### カ. 薪・ペレットストーブ設置補助

1台の薪ストーブ設置に対して補助を行った。100,000円/台

#### キ. 森林整備促進事業補助金

令和3年度より作業道新設・修繕に係る費用の補助金を新設した。修繕費用の補助を行った。

#### ク. ライフライン等保全対策事業

令和3年度より町道、林道等の危険木伐採事業を行った。令和3年度は和合坂の危険木を伐採した。

### ② 植樹祭

国有林内において、令和3年度木曾森林管理署南木曾支署・南木曾町合同植樹祭を行う予定だったが、新型コロナウイルス蔓延防止のため開催中止となった。

### ③ その他

#### ・みどりの募金

期間 4月1日～5月31日

募金額 229,610円 内訳 世帯募金 226,490円

職場等 3,120円

街頭募金を5月1日に妻籠宿ふれあい館前にて実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

#### ・みどりの少年団

例年7月下旬に、王滝村松原スポーツ公園にて開催される木曾地区みどりの少年団交流集会へ南木曾小学校みどりの少年団が参加する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

#### ・南木曾中学校1年生体験学習

4月16日 椎茸植菌作業事前学習（講師：木曾地域振興局林務課）

21日 椎茸植菌作業 新型コロナウイルス感染拡大防止による休校のため、中学校職員、森林組合、役場にて実施。

10月22日 林業体験事前学習（講師：南木曾町森林組合）

27日 田立地区国有林内の学校林において、林業体験として間伐作業実施。

#### ・森林の里親促進事業

福澤桃介が初代社長であり、愛知県名古屋市の本社のある、大同特殊鋼(株)がH28年度に創業100周年を記念して、福澤桃介ゆかりの地である南木曾町と森林の里親契約を締結している。今年度も昨年度に引き続き、森林整備のために年100万円の寄付をいただいた。大同特殊鋼(株)の社員の皆さんと共に山林整備を実施する予定だったが、新型コロナウイルス蔓延防止のため中止となった。寄付金にて委託により下刈を行った。

(2) 町有林関係

①町有林造成事業

令和3年度の実施内容は以下のとおり

搬出間伐	(峠町有林)	9.39ha
保育間伐	(梅洞山の神町有林、峠町有林)	5.34ha
下刈	(天白町有林)	2.4ha
除伐・歩道整備	(下安町有林)	3.0ha

②山林委員会

町有林の管理・維持のため各地区に山林委員を委嘱している。

委員の方には受け持ち林班の巡視を始め、町有林経営計画に基づく施業の確認、体験学習等の指導、関連事業の立ち会いをお願いしている。

山林委員名簿

委員長：田中 淳司 副委員長：小幡 征海

読書	古根 一	吾妻	亀山 寿幸	田立	小幡 征海
	田中 淳司		尾崎 利輝		林 重利

任期：令和2年5月1日～令和6年4月30日まで 4年間

山林委員会は、2回開催した。

山林委員の町有林巡視の他、南木曾町森林組合に巡視の一部を委託した。

(委託料：240,000円)

(3) 林道開設・改良等事業

①林道開設 実施なし

②林道改良 実施なし

③作業道開設

峠町有林搬出間伐業務に伴い搬出路として作業道を町有林内に開設した。

開設により高性能林業機械が進入可能となり作業効率が向上した。

権現町有林作業道開設

R3年度 延長 589.0m、幅員3.0m

(4) カモシカ対策事業

民有林・国有林内におけるヒノキの幼齢木に対するカモシカの食害は、新植面積の減少により減る傾向にあるが、農作物を対象とした被害は依然として後を絶たない。

個体数調整事業は、第二種特定鳥獣管理計画に基づき被害状況から捕獲計画頭数を10頭で申請。長野県において審査の結果、申請と同数が計画頭数に認められ、10頭の捕獲実績となった。

(5) 森林病虫害等防除対策事業

・松くい虫防除対策

補助事業により南木曾町から大桑村への北上防止を実施するとともに、生活道路周辺の危険木と合わせ伐倒・くん蒸処理を実施した。

県補助事業により被害拡大防止に努めているが、北上防止を優先しており、大桑村町

村境周辺のみ実施としている。このためその他地域では処理が進まず、町内の被害は拡大している。枯損木となり公共施設等へ倒木することにより人身被害及び物損被害の懸念のある木については地権者の申請により伐採のみ町で実施している。

- ・カシノナガキクイムシ対策

町内各地で被害が激増しており、枯損木が確認された。

県補助事業により、被害拡大防止のための被害木処理を実施している。

#### (6) 有害鳥獣駆除事業

南木曾町有害鳥獣駆除対策協議会では、書面による意見聴取にて令和3年度の駆除実施計画、南木曾町有害鳥獣被害防止計画について確認し、駆除班を編成して実施した。

有害鳥獣の駆除・追払い等の活動を実施する、「有害鳥獣駆除従事者」は、南木曾町猟友会員のうち講習受講者61名の登録とした。

合わせて、「有害鳥獣駆除従事者」により「鳥獣被害防止実施隊」を編成し、有害駆除を実施した。

新規狩猟免許取得者6名へ取得費用の補助を行い、有害駆除従事者・被害防止実施隊員の登録をした。

国補助事業により向栗畑地区へ侵入防止柵の導入、与川地区（町単補助）で緩衝帯を整備し、獣の移動ルートを寸断するとともに、隠れ場所を無くすことで出没防止を実施した。更にニホンザル用の捕獲檻6基、くくりワナ140基を購入し猟友会各支部へ配布し、ニホンザル用の大型捕獲檻1基を十二兼地区に設置し運用を行った。

県からの依頼により、豚熱（旧称豚コレラ）蔓延防止の観点から捕獲イノシシの検査を猟友会の協力の下で行った。（令和3年度 検査頭数11頭 内陽性0頭）

- ・忠犬事業

忠犬による有害鳥獣の追い払い事業は、平成17年度から行われている。

令和3年度末までに本登録32頭が登録されている。本年度も忠犬の状態確認を行った。

- ・クマ被害対策

猟友会の協力の下、被害対策・捕獲を行っている。第5期ツキノワグマ保護管理計画における長野県への意見照会では、集落付近で錯誤捕獲となった場合は、人身被害を防止する観点から捕殺を含む対処を強く要望。このほか広報誌や区長配布による注意喚起や、広報無線による出没情報の周知を図っている。

#### (7) 治山事業（県事業）

- ・予防治山事業

読書 川向 西ノ下（谷止工1基）

- ・県単治山事業

読書 与川 阿征坂（支障木伐採、作業ヤード整備）

#### (8) 災害復旧事業

- ・補助災害分

林道袖山線災害復旧工事

- ・町単災害分

林道細野山線災害応急作業工事

林道日向平線 路面修繕工事

林道畑沢線災害復旧工事	林道奥向夏虫線 災害復旧工事
林道恋路峠線災害復旧工事	林道袖山線 路面陥没修繕
林道秋葉山線災害復旧工事	林道恋路峠線 水槽設置工事
林道袖山線災害応急作業工事	林道田の沢線災害（仮）復旧工事
林道袖山線 路面整正及び草刈	林道袖山線災害復旧付帯工事
林道細野山線 崩落土除去、路面清掃工事	
林道袖山線 陥没箇所修繕及び路面整正	
林道細野山線 側溝・横断溝清掃工	
林道畑沢線 土砂崩落除去及び法面修繕	
林道摺鉢線 土砂・転石撤去工事	
林道長根線 道路排水流末復旧工事	
・ 県単災害分 なし	

### 令和3年度林務関係主要事業

#### (1) 林業振興関係

単位：千円

事業名	事業主体	事業量 (ha、台、 m、箇所)	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
林業振興事業補助金 (指導啓発事業)	森林組合		988				988	
林業振興事業補助金 (造林事業)	森林組合	27.41	821				821	
林業振興事業補助金 (特認事業)	林研クラブ		150				150	
山林資源活用機器設置補助金 (薪・ペレットストーブ設置)	町	1	100			100		その他：森林経営管理基金
森林整備促進事業補助金 (作業道開設・修繕)	町	772	927			926	1	その他：森林経営管理基金
ライフライン等保全対策事業 (危険木伐採)	町	1	1,900			1,870	30	その他：森林経営管理基金
合計			4,886	0	0	2,896	1,990	

#### (2) 町有林造成事業

単位：千円

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
町有林造成事業	町	歩道整備 111m 下刈 2.40ha 保青間伐・軟骨防止 1.38ha 搬出・保青間伐 13.35ha 作業道開設 589m	300			200	100	下安町有林 (田立塚野) その他：寄付金
			693			692	1	天白町有林 (読書天白) その他：寄付金
			924			308	616	梅洞山の神町有林 (田立塚野) その他：寄付金
			14,599	6,090		909	7,600	権現町有林 (吾妻大妻籠) その他：上下流交流基金
合計			16,516	0	6,090	2,109	8,317	

(3) 林道開設・改良・維持事業

① 林道改良事業  
・実施なし

② 林道維持補修

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳			備考
				国庫支出金	県支出金	地方債 その他	
林道維持修繕	町内	・維持修繕 ・読書トンネル道路用 非常用電話更新	3,546	0	0	0	修繕5路線、6か所 長根線、畑沢支線、播鉢線 日向平線 川向柳野線：読書トンネル非常用電話更新

③ 作業道開設

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳			備考
				国庫支出金	県支出金	地方債 その他	
峠町有林作業道開設	峠町有林	作業道 開設 589 m	3,649	0	1,522	0	112 2,015 上下流交流基金 112千円

(4) カモシカ対策事業

① 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳			備考
				国庫支出金	県支出金	地方債 その他	
カモシカ個体数調整事業	町内一円	10頭	595	0	0	0	595

② 捕獲実績

単位：頭数

年度	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	合計
頭数	8	8	8	9	10	10	5	3	4	10	75

(5) 森林病害虫等防除対策事業

① 松くい虫対策

ア 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量 (m)	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
森林づくり推進支援金事業	町内一円	24.36	887		752			135	県民税事業
松林健全化推進事業		136.59	5,742		3,237			2,505	
(内 松くい虫被害)	三留野以北	(121.57)	(4,748)		(2,704)			(2,044)	
(内 ナラ枯被害)		(15.02)	(994)		(533)			(461)	
危険枯損木処理(松枯)	町内一円	4.94	273					273	地権者要望箇所対応
計		165.89	6,902	0	3,989	0	0	2,913	

イ 枯損木の伐倒燻蒸処理量

単位：m<sup>3</sup>

年度	処理量	24	25	26	27	28	29	30	元		合計
									190.50	155.34	
		134.16	225.40	491.67	201.65	291.42	253.27	186.50	190.50	165.89	2,295.80



(6) 有害鳥獣駆除事業

① 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
有害鳥獣対策事業	町内一円	一式	6,770				6,770	駆除報償金、檻修理等
鳥獣被害防止 緊急捕獲等対策交付	町内一円	一式	3,310	915			2,395	ニホンザル・ニホンジカ ・イノシシ 個体数調整
野生鳥獣総合管理対策事業	町内一円	一式	160		80		80	有害鳥獣捕獲者支援 ツキノワグマ放獣
鳥獣被害防止総合対策交付金	町内一円 田立 塚野	一式	2,143		2,121		22	ワナ、檻購入 侵入防止柵設置
忠犬による追払い事業	町内一円	一式	59				59	忠犬状態確認、飼主傷害保険
計			12,442	915	2,201	0	9,326	

② 有害鳥獣駆除数実績

単位：頭数

駆除対象鳥獣	サル	イノシシ	クマ	キジバト	カラス	ノウサギ	ハクビシン	タヌキ	カワウ アオサギ	ニホンジカ	アライグマ	アナグマ
有害期間許可頭数等	90	150	必要数	10	30	5	50	90	10	140	5	20
有害対象期間捕獲頭数	46	30	1	0	0	0	37	30	0	74	4	4
狩猟期間捕獲頭数	13	10	0	0	0	0	3	26	0	28	1	0
駆除合計	59	40	1	0	0	0	40	56	0	102	5	4
(前年度駆除頭数)	82	52	9	0	0	1	46	94	0	86	2	16

③ 熊の出没回数

単位：回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年	0	1	1	8	12	8	2	0	1	0	0	0	33
令和2年	1	3	13	21	24	25	2	1	0	0	0	0	90

## ④ 忠犬登録実績

単位：頭数

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度
読書	23	26	26	26	27	25	25	24	22
与川一区	2	2	2	2	2	2	2	2	2
与川三区	2	2	2	2	2	2	2	2	2
与川五区	2	2	2	2	2	2	2	2	2
十二兼	1	1	1	1	1	1	1	1	1
本谷	1	1	1	1	1	1	1	0	0
岩倉	1	1	1	1	1	1	1	1	1
戸場	3	3	3	3	3	1	1	1	1
川向	4	5	5	5	5	5	5	5	5
沼田	0	1	1	1	1	1	1	1	1
上の原	4	5	5	5	5	5	5	5	3
和合北	0	0	0	0	1	1	1	1	1
新町	1	1	1	1	1	1	1	1	1
東町	2	2	2	2	2	2	2	2	2
吾妻	7	7	7	6	6	6	5	4	5
中町	1	1	1	1	1	1	1	1	1
橋場	1	1	1	1	1	1	1	1	1
大妻籠	3	4	4	3	3	3	2	1	2
下り谷	1	0	0	0	0	0	0	0	0
口広瀬	1	1	1	1	1	1	1	1	1
田立	9	9	9	8	8	9	9	5	5
元組	1	1	1	1	1	1	1	0	0
向栗畑	3	3	3	3	3	2	2	2	2
栗畑	1	1	1	1	1	1	1	1	1
下切	1	1	1	1	1	1	1	0	0
大野正兼	2	2	2	1	1	1	1	0	0
塚野	1	1	1	1	1	3	3	2	2
合計	39	42	42	40	41	40	39	33	32

(7) 治山事業費  
県事業分 (R3年度完了分)

事業名	実施箇所	事業及び事業量	備考
予防治山事業	西ノ下	谷止工	1基 請負金額 24,508千円
県単治山事業	阿征坂	支障木伐採 作業ヤード整備	1式 1式 請負金額 8,701千円

(8) 災害復旧事業費  
① 国庫補助事業分 (R3年度完了分)

事業名	実施箇所	事業及び事業量	備考
林道施設災害復旧事業	袖山	路肩流出復旧工	L=9m 請負金額 2,200千円

② 町単独事業分 (R3年度完了分)

事業名	実施箇所及び事業内容	備考
林道災害復旧	林道細野山線災害応急作業工事	請負金額 33千円
	林道畑沢線災害復旧工事	請負金額 187千円
	林道恋路峠線災害復旧工事	請負金額 242千円
	林道秋葉山線災害復旧工事	請負金額 418千円
	林道袖山線災害応急作業工事	請負金額 99千円
	林道袖山線 路面整正及び草刈	請負金額 88千円
	林道袖山線 路面陥没修繕	請負金額 99千円
	林道畑沢線 土砂崩落除去及び法面修繕	請負金額 385千円
	林道奥向夏虫線 災害復旧工事	請負金額 396千円
	林道摺鉢線 土砂・転石撤去工事	請負金額 132千円
	林道長根線 道路排水流末復旧工事	請負金額 990千円
	林道細野山線 崩落土除去、路面清掃工事	請負金額 297千円
	林道日向平線 路面修繕工事	請負金額 396千円
	林道田の沢線災害(仮)復旧工事	請負金額 154千円
	林道細野山線 側溝・横断溝清掃工	請負金額 858千円
	林道恋路峠線 水槽設置工事	請負金額 869千円
	林道袖山線災害復旧付帯工事	請負金額 275千円
	林道袖山線 陥没箇所修繕及び路面整正	請負金額 495千円

